

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	健康増進事業		
事業担当	健康・こども部 健康課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	③<健康・安心・福祉力>その人らしく安心できる生活を支援する	
	'02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等	健康増進法		
対象・受益者	20歳以上の市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働： 医師】		
目的・目標		事業の概要	
生活習慣病の予防により、市民の健康増進が図られています。		生活習慣病の予防のため、知識の普及・啓発を目的とした健康教室を開催します。また、病気の早期発見とその原因となる生活習慣の改善のため、各種健(検)診を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	健康教室の開催回数				単位	回
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	100	100	100	100		
	実績	101	104	99			
活動指標②	指標名	がん検診受診者数				単位	人
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	36100	36700	41000	43000		
	実績	38356	39841	40706			
成果指標①	指標名	がん検診受診率				単位	%
	説明・算定式	受診者数÷延べ対象人数×100					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	15	16	16	16		
	実績	12.9	13.4	13.7			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成24年度の主な取組と成果							
がんの早期発見と正しい健康意識の普及・啓発により、健康の保持・増進を図ることを目的に、昨年度に引き続き「がん検診推進事業」や保健センターでパネル展示等を実施しました。また、健康教育では女性の健康づくりとして、子宮がん・乳がんについて知識の普及啓発等を行いました。さらに、乳幼児連れで安心して受診できるよう、集団検診会場で保育実施の日を6日設けました。これらの結果がん検診の受診者数は増加しました。							
平成24年度の検証結果	B：おおむね成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	健康増進法に基づき実施している事業のため、必要性は高いと思われます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	継続して事業を行うことにより、健康や疾病予防への意識を高めることができることから、有効性は高いと思われます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	適正な受益者負担や対象者、条件を含め検討する必要があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	集団検診の民間委託の可能性や一部集団検診でのみしか実施していない事業形態を再検討しコスト削減等に取り組む必要があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 がんの早期発見のために、受診者数向上への取組みが必要です。 国により検診方法等の見直しが検討されています。より受診しやすい環境を整えるため、こうした見直しにも迅速な対応が求められます。また、更なる高齢者の受診増加が予想されるため、負担金免除の基準や受益者負担金の見直しも必要になります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		健康教育、各種がん検診、各種健康診査事業等の実施	健康教育、各種がん検診、各種健康診査事業等の実施	健康教育、各種がん検診、各種健康診査事業等の実施	健康教育、各種がん検診、各種健康診査事業等の実施
財源内訳	国庫支出金	14,465	21,539	17,488	15,471
	県支出金	2,025	7,796	7,484	6,635
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	305	240	108	136
	一般財源	181,018	170,859	197,019	223,365
事業費 (A)		197,813	200,434	222,099	245,607
執行率 (%)		87.03	94.12	96.38	
内訳	職員 (人)	3.40	6.35	5.70	6.10
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		28,081	51,461	45,686	48,483
フルコスト (A+B)		225,894	251,895	267,785	294,090

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針 平成22年度に導入した保健総合管理システムを活用し、未受診者への対応等、受診率向上に向けて市民周知の工夫、実施方法等の見直しを引き続き検討します。
課長コメント 平成23度に引き続き実施したがん検診推進事業や保育実施の効果もあって、受診者数が増加しました。今後も、市民、特に未受診者への周知の工夫等、受診者の増加へつなげる方策を検討していくことが重要であると考えます。